

# 令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立貴志南小学校

作成日

令和3年 3月 12日

## 1 教育目標

21世紀に生きる望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子供の主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子供の育成 — たくましい子、やさしい子、考える子 —

## 2 学校自己評価についてのご意見

	開かれた学校	たくましく健やかな体	大きく豊かな心	確かな学力
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎家庭・地域との連携充実</li> <li>◎保幼小の連携、中学校区における学校間連携の推進</li> <li>○地域の資源活用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎体力向上の推進</li> <li>◎基本的生活習慣の確立</li> <li>○危機回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎いじめの未然防止 早期発見</li> <li>◎インクルーシブ教育の普及</li> <li>○道徳・人権教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎・基本の確かな定着</li> <li>◎子供主体の授業の推進</li> <li>○家庭学習の定着</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、コロナの影響で、「開かれた学校」という部分は難しかった。</li> <li>・参観や家庭訪問等が実施できず、今年度は目標の設定自体が難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の確立のために、学校と家庭が連携し、意識して取り組むことが大切。</li> <li>・マスクの着用や検温など、体調管理にしっかりと取り組めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭でも、子供との会話を増やしていくことが大切。</li> <li>・心の教育は学校だけでは限界があるため、家庭との連携が重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく知ることが楽しく思える教育環境が大切。</li> <li>・小学校で、学習の基礎基本をしっかり身に着けることが重要である。</li> </ul>
取組状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、中止となった行事が多かったので、保護者や地域の方と関わる機会が減り残念であった。</li> <li>・学校HPは、保護者・地域が情報共有する一つの手段として、今後も継続取組を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は、地震・津波、地震・火災などに取り組んでいた。</li> <li>・バスケットや陸上などの活動ができなかったため、次年度はぜひ実施してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供同士のトラブルでは、子どもにもどう対応すべきかを考えるように指導できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい本を入れたり、手に取りやすいところに本を置いたりして、学校が読書に力を入れていることが伝わる。</li> </ul>
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小連携や、中学校区内の小学校連携についての取組をさらに進める。</li> <li>・地域人材や地域教材をもっと活用する機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わんわん貯金」は、自分の生活を振り返るよい機会になっている。家庭でも前向きに取り組みたい。</li> <li>・アレルギーに対して丁寧に対応できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、ペア活動(特に1年生と6年生)が実施できず、年下を気遣ったり、上級生としての責任感が芽生えたりする機会が少なかった。</li> <li>・保護者アンケートの「いじめをなくす学校・学級づくり」で、「わからない」が多い。もう少し取組をわかりやすく示す必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業の流れを、黒板のはしに書いておくことは、子供たちにとって見通しを持ちやすい手立てだと感じる。</li> <li>・自分の考えを言葉で伝えることは難しいが非常に大切である。</li> </ul>
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナ禍で、思うように活動ができない状況であったが、できる内容や方法を工夫し、地域との連携について検討を進められたらよい。</li> <li>・可能な限り、感染症への対策をとり、行事などで学校の様子を知る機会を作ってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭では体力づくりが難しい場面もあるため、学校で子供たちが興味を持てる取組を実施してもらいたい。</li> <li>・子どもセンターにおいて、体力向上の取組や、体を動かすことの楽しさを感じられる取組を考えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々との交流を、今までとは異なる形で実施することを考える必要がある。様々な人との交流を通じて、コミュニケーション能力を向上させることは重要である。</li> <li>・子どもセンターの茶道教室や、ものづくり教室において、地域の方との交流の機会を持つよう取り組むたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で休校となる期間もあり、授業時間数に余裕がなく、児童の学習理解に差ができていないか心配である。</li> <li>・休みが多すぎて、学習することが嫌いになっている児童が多くなっていないか心配である。</li> <li>・子供が楽しいと思える授業の実施。</li> </ul>

## 3 其他のご意見

- ・子供たちは生き生きとした笑顔で元気があり、学校が楽しいのだなと感じられる。
- ・先生方は、子供一人ひとりとしっかり向き合い接していると感じる。
- ・あいさつは、こちらからすると返してくれる感じである。知らない人や見たことのない人には自分からなかなかあいさつできないが、これが今の世の中かなと思う部分もある。
- ・今年度中止となった、外部の方による授業(禁煙教室や出前授業など)を、次年度の学年で実施してほしい。
- ・学級通信は、学級の様子や取組を知る手段となり、子供との会話のきっかけとなり、とても役立った。